

(1) 題材名 「星ざ早見を使って星ざをさがそう(プラネタリウムを使用して)」

(2) 目標 星座早見の使い方を理解し、それを使って星座が見つけれられるようになること。

(3) 展開 20分

学 習 活 動	時間	支 援	教具等
1. 学習課題をつかむ。 どのように星座早見を使って、星座をさがすのだろう。	1分	・なるべく中央の席に座らせる。 ・目標を明確に提示する。	<児童> 星座早見 懐中電灯 (赤セロハンを貼ったもの)
2. 星座早見の日付と時刻を合わせる。	7分	・パワーポイントで合わせ方の説明。 ・隣の人同士で確認させる。 ・前の舞台に出て、方角の合わせ方を説明。	<学芸員> パワーポイント レーザーポインタ
3. 星座を探す。	5分	・特定の星座もしくは星の並びを予想させ、星を投影して確認させる。 ・懐中電灯で星座早見を照らせ、別の星座・星の並びを予想させる。星を投影して確認させる。	さそり座、夏の大三角など。季節によって探させる星座を変える。
4. 星座早見を合わせ直し、異なる時刻に見える星の並びを探す。	3分	・時間を進めて日周運動を示す。 ・夜中に見える星座または星の並びひとつを星座早見を使って探させる。	
5. 星の並びから星座名をしらべる。	2分	・特徴的な星の並びを指して、それが何の星座か、星座早見を使って調べさせる。	
6. 惑星の見え方について知る。	2分	・星座早見に載っていない天体(惑星・月)を示す。	
7. 気づいたことや疑問に思ったことをあげる。	一分	・プラネタリウムを出たあと、気づいたことを話し合わせ、質問を受ける。	

(4) 評価 積極的に星座早見を使用し、星座が探せるようになったか。(観察)